

武 行 責 編	行 任 者 集	眩 村 長 山 田 庄 太 郎 眩 村 教 育 平 景 之
------------------	------------------	---

元中野小学校
敷地売却
旧中野小学校敷地三反八
畝は去る十二月公売に付
したが、比元部落が買受
け希望し特別委員会と母
部落の結果、十五万円で比
元部落へ地下権を決定した

鹿野川外に伴う

廿一年度のタル工事關係予算獲得のため各機關と運動を續けていたが、此の程、五億六千万円の確定をみた。これが、水没關係の予算（補償支払）道路つけ替え工事にあてられるのは勿論、タル建設の工事にあてられるので、かなり目につく仕事が出来た。又、今度の運動で三ヶ年間の継続事業に、つたので昭和三十三年度にはタルが完結するところになる。

利議云 協議會を聞く

一月二十三日 村議会協議会を開き左の協議をした
一、中野小学校増築について
二、中学校統合の研究につ
いて
三、敷水簡易上水道設備に
ついて
四、自営自勤車大谷車庫
五、肥川農協田建整並備
倉に對する援助につ
いて。

村議會

冬、示昌、乙の朝キ、	○ 経社済委員、	一月二十日、奉島會を、に教育委員、代表會を、開	開きの託案件である、肥川、き、中居、方、報、施設に、対	農協、再建援助について、研、する、村補助について、	諸研究を重ぬ、一、赤農協、及び、中学校統合問題につ	再建のために、村の、苦しい、き、才、一、圓の研究をした。	財政の中から、援助を必要、とする結論をだした。	○ 文化教育委員、	二月六日、建設委員、會を、開	き、中野、小、学、校、増、築、に、つ	いて、及び、大、谷、省、官、自、
-------------------	-----------------	--------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------	------------------	-----------------------	---------------------------	-------------------------

村会計定期監査実施

一月十八日から二十日まで、及び二十七日に亘り
 肥前村会計の定期監査を実施した。

脰川村果樹園芸

兼てから蠶桑になつていたこの同志会は一月二十六日約三十名の参集を得て規約を作製新谷足した
当北方は全国でも最も富育種の適地として往因されて
いる。又品類も生産比のものに比し決して劣らないが、
栽培管理の奥で一步おくれれている。

この奥は栽培者も認識し、尚新植への意欲を燃や
生産者も多いので、やがて伸びてゆく果樹産地として
基本的研究と相俟つて、その統一生産を目ざして

国保の扱い
届出、診断に注意

の組織を作らねばと、有志の努力と生産者の熱意により、今面の啓発をみた。今石、郎青果園と密接な連絡のもと、技術の研究、生産の増進、同志の経済的、社会的地位の向上（育てようとしてゐる。同合、申込は農業普及局、戸、森岡技師）へ

会を終了したが同總會で三十二年度決算を
十一年度事業計画を商場一致で決定した。

つたかどうかはレントゲン検査によらないと分らない。

集困検査は 本人や家族の者も気づかないうちに発見して治療したり休むことが多い。

森林組合總會終了

彫川村森林組合では一月三十一日、才五圓通常總會を終了したが同總會で三十年代決算を承認、三十一年度事業計画を通過一致で決定した。

事業内容左の通り

一、教育指導事項
 岡村見本林の設置
 子子林地区二ヶ所
 比刀増進見本林
 大谷宇和山各二所
 二枚林見本林
 大谷宇和山各二所

二、管内事業
 伐採調整資金五百万円
 造林資金 二〇万円
 三種苗生産事業
 播種苗圃 杉、松各五畝
 床苗苗圃 杉二反五セ
 杉二反歩

三、林産事業
 岡村、上坪の養計生産

麦の手入

一 追肥

冬の間は草丈は僅かに伸長しないが、分けた枝は増加し有効分けつとなる。これを主釋葉枝で云へば即葉期から七葉期に相当する。二月頃の養分吸収はまた少いようにみえるが二月は有効分けつの限界期であり、又土壌から吸収する養分が不足する、寒害などの障害を受けるから、窒素系追肥を施すより、

料の追肥とする。これが大切である。元肥に硫酸三リン酸を施しているものは三月中旬頃に、五リン酸の場合には二月下旬頃に肥切れとなるようであるから、今月の中下旬頃に硫酸二リン酸程度を施しておく、燐酸は追肥としての効果は少いが、加量に生育助長、病害の予防等大切であるから、塩化加量一メット

二
中
耕

中耕は温熱空氣水分の
 通過をすくし土壌の同化
 養分の吸収を良くするの
 で湿気の多すぎるときは
 深目に、乾燥しすぎると
 きは極く浅く土壌の表面
 をきならす程度とする。
 三、土入れ
 厚層の林土密度調節、寒
 害防止、雑草、草効分け
 つを抑制するが一般に多
 すまいようである。
 土入れの程度は表の草丈
 の十分の一位がよい。

